

価値評価理論のフレームワークと事例

神戸大学大学院経営学研究科 砂川伸幸

講義要旨：企業価値や事業価値の評価について、現代ファイナンス理論が教えるフレームワークを解説し、事例研究によって理解を深めます。

講義予定：2月28日と3月7日、いずれも3、4、5時間目

2月28日：価値評価理論のフレームワーク

DCF法、マルチプル法を中心に価値評価のフレームワークについて解説します。CAPMと財務会計の知識が必要ですが、随時解説します。その後、最近のM&A事例について、企業の全社戦略なども含めて議論します。

3月7日：価値評価理論のケース

価値評価理論のケース・ディスカッションを行います。ケースについては2月28日の講義時に配布します。当日までに各自で課題を考え、当日はグループに分かれて意見をまとめます。その後、グループ報告をベースにして全体討論を行います。

[テキスト、参考文献]

テキストは用いません。レジメを配布します。

コーポレートファイナンスの知識がない方は、拙著『コーポレート・ファイナンス入門』（日経文庫）に目を通しておいってください。